資料５

かながわ心のバリアフリー・メッセージ（イメージ）

子どもから高齢者まで、誰もが地域においていきいきと暮らすことができるためには、ともに生きる社会を実現していくことが必要です。

　ともに生きる社会を実現するためには、物理的な不自由さを解消するハード面の街づくりと併せて、心のバリアを解消していく必要があります。

「心のバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支えあうことです。

そこで、神奈川県では、次の取組を推進します。

１　気づこう！

　　さまざまな人それぞれに異なる困りごとや痛みがあります。県は、こうした多様性への気づきや理解を広げるための普及啓発を図ります。

２　学ぼう！

　　人それぞれに異なる困りごとや痛みに気づいたら、どのようにしたらその困りごとや痛みを取り除くことができるかを考えましょう。県は、考えるヒントを学べる場を提供します。

３　やってみよう！

　　心のバリアフリーは、一人ひとりが実践することが重要です。ともに生きる社会の実現を目指し、自分の身の回りのできることからやってみましょう。